

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第130号

平成30年8月24日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470



夏だ！「科学の祭典」だ！③

「青少年のための科学の祭典2018 神奈川大会」特集の最終号です。
今号では、出展団体と運営スタッフからのアンケート記述も紹介します。出展する立場としては、お客さん達からのアンケート(自由記述)と並んで貴重な振り返り資料となります。

23団体26出展の紹介

協議会ニュース128号～129号で、全26出展中、18ブースの紹介をしました。今号は最後の8ブースの様子を紹介します。(タイトル等、一部省略したものががあります。)

| | | |
|---|---|---|
| <p>19 オーバルビリヤード 日本技術士会 神奈川県支部</p>  <p>楯円の焦点から身にビリヤード級を壁に当てます。すると、その球がどの方向に跳ね返るか…。体験して確認！</p> | <p>20 トリーズの発明原理 日本技術士会 神奈川県支部</p>  <p>玩具で「電気を作る」「電気を操る」「もつとくふうしてみる」を体験・観察しました。どんな発明原理が使われているか？</p> | <p>21 フラーレンボールを作ろう 三浦学苑高等学校 科学部</p>  <p>炭素原子60個で構成されるサッカーボール状の構造のC₆₀フラーレンを6色のPPバンドの網込みで作りました。</p> |
|---|---|---|

【出展団体、運営スタッフのアンケート記述から ①】

- ボランティアさんがよくがんばってくださったので助かりました。
- 場所も余裕があり、スタッフ5人がよく働いてくれました。
- ブース設置場所の事前準備しっかりされていて設営が楽にできました。
- 問題点とその対応など、他のところの様子が後からでもわかるとうれしいです。
- アシスタントが来ていただけなかったので大変いそがしい時がありました。アシスタントはぜひ予定してください。
- 大変よくやっていただきました。反省会をやめてアンケート形式にしたのは、出展者の負担も減って大変良いと思いました。今後もぜひこのような方針でやっていただきたいです。
- ボランティアの方がたくさん働いていただいて、今回も助かりました。
- 少し、スタッフ、ボランティアの方が少なかったです。
- 忙しいブースは人手が足りていなかったため、実験ショーの人が手伝いに入るなど、流動性をもって活動できたらよかった。
- みんなとても協力的ですばらしいなと思いました。的確な指示もして下さりとても分かりやすかったし、

- 片付けもスムーズで凄いなと思いました。
- 人手不足なところがあるようだった。
- 広くて多くの参加者に対応しやすい。
- すばらしい所で良かったと思います。照明がもう少し明るいと…助かります。
- 昨年問題になったドアのカーテンを取り付けていただき、どうもありがとうございました。
- 3F は人があまり来なかったのととても丁度良かったです。(時間配分がよくできました。)
- 子供達が物を作っているとき、他の所に目がいってしまう子がいて、作業に遅れている子がいたので、しきりなど置いたら置いた方がいいと思った。
- 一つ一つのブースが分かりやすくて、見やすくなっていて、子供たちはあそびやすかったのかなと思いました。時間の割り振りも分かりやすくて、とても動きやすかったです。
- 休憩スペースが少ないです。コインロッカーが出展者に占領されていました。
- 保護者のことも考えて、各ブースにもっと椅子があった方がいいと思いました。



22 コピー機になってみよう!

株式会社 リコー



コピー機の原理は静電気と色の3原色を利用した工程から成り立っています。これを体験しながら学びました。

23 箱根火山の立体模型

温泉地学研修所



お弁当パックのふたに地図の等高線を書き写し重ね合わせると・・・立体模型の出来上がりです!

24 かるたでバトル

生命の起源かるた制作チーム



このかるたは宇宙生物学(アストロバイオロジー)という研究を紹介しています。子どもも大人も遊べました。

25 世界一の種アルソミトラ

かながわサイエンスキッズサポート



世界一大きな翼をもった熱帯植物、アルソミトラの種の模型を発泡スチロールペーパーで作って飛ばしました。

26 光の三原色混合器

自然に親しむ会



赤、緑、青のLEDと厚紙でできた遮光板と白色の光拡散板を利用して、色の組合せ・混合比を調整する装置を作りました。



【出展団体、運営スタッフのアンケート記述から ②】

- 開場直後は訪れる人が稀であったが、その後は14名のスタッフで余裕があると思ったのに、訪問客、挑戦者が多く、休憩も取り難い状況であり、嬉しい悲鳴でした。今後も盛況であることを念じています。
- できればお盆は外してくださいとありがたいです。
- 昼前後の時間帯に各ブースが一斉に休憩に入るためか、来場者が開いている所へ集中し、混み合ったようです。休憩中のブースの時間帯が分散するよう、スケジュール調整できないでしょうか?
- 初めての出展でしたが、非常にスムーズかつ、「人が集まらないのでは?」という不安を吹き飛ばす盛況でブースが運営できました。ありがとうございました。
- おもしろい実験がたくさん散りばめられてとても楽しく、時間が過ぎていくようであった。
- 階段あがってすぐのところに案内図があるとよいです。

- 道案内をよく聞かれました。
- お客様がたくさんでよかったですと思います。休むひまありませんでした。
- 結果的に、来場者数、工作希望者数等、ちょうど良い具合でした。
- 担当者が、子供たちが少しまぢがえただけで、子供に強い口調で言っていたので、時間が無くて子供たちのための科学なので怒るのはどうかと思いました。
- 最初は焦ってしまっとうまく説明ができなかったりしましたが、だんだんと慣れ始めてきて余裕が出てきた時に、お互いがフォローしあえていたのがとても良かったと思いました。今日ちゃんとできるか不安でしたが、子供達の笑顔も見られたのでとても良い体験になりました。

事務局から

事務局(科学部)10月移転



今年度の「科学の祭典」も協議会の会員の皆様のご協力で盛大に開催することができました。体調不良や怪我で保健士さんにお世話になることもなく、笑顔で帰っていく子ども達の姿が疲れを吹き飛ばしてくれました。来場者や出展団体・運営スタッフのアンケートも参考にして、より充実したイベントに作り上げていきたいと思ひます。改めまして会員の皆様のご協力・ご活躍に感謝いたします。(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)



科学部は移転します